

非核の政府を 求める大阪の会

非核の政府を求める大阪の会
発 〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4(新谷町第3ビル210号)
TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
行 URL・http://homepage3.nifty.com/hikakuosaka/
E-mail・hikakuosaka@hotmail.com



第144号 2011年7月1日 ニュース

米第七艦隊旗艦「ブルー・リッジ」の大阪湾寄港と 安保条約・原発事故を考える



岸壁使用料は 日本持ち方?

五月一三日、「ブルー・リッジ」が大阪湾に入港しました。アメリカは、世界の海を勝手に六分割し、米大陸の東側を第二艦隊、西側を第三、南米大陸周辺を第四、地中海とペルシヤ湾岸地域を第五、東大西洋を第六、日本を含む西太平洋とインド洋を第七艦隊がそれぞれ支配しています。このうち第七艦隊の範囲が最も広く、戦力も、艦艇六〇隻、航空機三五〇機、兵力六万と最大です。横須賀を母港とし、この大部隊を指

揮するのが排水量一万九千トンの旗艦「ブルー・リッジ」。ベトナム戦争、湾岸戦争に加わった戦歴で知られています。「原子力空母ジョージ・ワシントン」一〇万トン(以下、G・Wと略)よりは小さいものの、指揮官は海軍中将(ちなみにジョージ・ワシントンの指揮官である海軍大佐より上位)。接岸した「岸壁」は、普段は貨物船が食品を荷揚げするために使われて、それぞれの船会社が岸壁使用料を港を管理している大阪市に支払っており、どの船も同じ使用料を払います。二万トンクラス「ブルー・リッジ」ではおよそ百万円(一昨年来艦入港の際には五百万円)の着岸料。これをアメリカが支払うのならまだしも、日本政府が支払うのです。日米安保条約・行政協定がある限りこんな理不尽なことがまかり通るのです。

トモダチ作戦の裏で
大地震が起こった時、シンガポールにいたこの軍艦は、急ぎよ、救援物資を積んで日本に引き返してきました。米軍が「トモダチ作戦」と称して艦船・航空機を動員し、救援活動をしたこと自体は良いことです。しかし、救援に来た原子力空母「ロナルド・レーガン」は福島沖から逃げ出し、「G・W」(いずれも原子炉二基を動力としている)は、佐世保に避難しました。トモダチ作戦「展開」中の三月、沖縄嘉手納基地では、戦闘機の離発着回数が四〇九三回とこの九か月で最大となり、住民には耐えがたい日々が続いています。離発着回数は毎月三〇〇〇〜四〇〇〇回

毎日一〇〇〜二〇〇回にもなっており、「琉球新報」や「沖縄タイムス」紙は、「地震の支援のためにも嘉手納基地が必要」と言わんばかりの米側の態度に怒りの声をあげています。四月になって、米軍は「トモダチ作戦」に六八億円かかった」と発表しました。真の「トモダチ」なら、大震災で財政的にも苦しんでいる日本から毎年二〇〇〇億円の予算は受け取らないはず。救援で奮闘した個々の米兵には感謝しますが、どうもすっきりしない。日米の真の友好関係を築く妨げとなっているのが日米安保条約の存在ではないでしょうか。(次頁)

- ①【非核五項目】
① 全人類共通の緊急課題として核戦争阻止、核兵器廃絶の実現を求める。
② 国是とされる非核三原則を厳守する。
③ 日本の核戦力化へのすべての措置を防止する。
④ 国家補償による被爆者援護法を制定する。
⑤ 原水爆禁止世界大会の、これまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する。

核兵器と 原子力発電所

(前頁から)

二発の原子爆弾が落とされてから九年後の一九五四年、推進力に原子炉を搭載した原子力潜水艦ノーチラス号が就航しました。潜水艦を長期に浮上させずに作戦遂行を可能にする軍事目的から開発されたものです。この原子炉を陸に挙げたのが原子力発電所なのです。いま世界中には原子力潜水艦は一六〇隻(米艦が一〇〇隻)ほどあると言われていますが、実は、事故だらけと言つてよいのです。軍事機密のベールに包まれ、全貌はつかめませんが、判明しているだけでも旧ソ連で二〇件、このうち海底に沈んだままが四隻、一一八名の乗組員ともにとりうもありません。アメリカはスレッシュヤー号、スコーパー号の二隻、スコーパー号は九九名の乗組員と原爆二個を積



の他にも、日米安保条約をなくすことが強く求められます。(常任世話人・長尾正典)

んだまま海底深く沈んでいると言われている。原発も事故が多発しています。スリーマイル(一九七九年)、チェルノブイリ(一九八六年)以前にイギリスのコールダーホール原発事故(一九五七年)も大きな被害が出ており、その影響はいまも続いています。日本では一九九一年美浜二号機のギロチン破断事故(五五気圧二七〇度の熱水を通ず細管が破れる)、一九九五年もんじゅのナトリウム火災事故(左写真)、一九九七年東海再処理工場事故、一九九九年JCO臨界事故、二〇〇一年浜岡原発水素爆発、二〇〇四年新潟中越地震による柏崎刈羽原発事故(新潟)、など。さらに

原発は使用済み核燃料の処理方法が未解決のままです。もともと、ウラン燃料の輸入もアメリカ言いなりで、自立したエネルギー源ではありません。核兵器については、オバマ大統領のプラハ演説後、米口の戦略核削減交渉で三一〇〇発まで減ることになりませんが、これだけでも六七億人の人類を数十回も殺すことが出来る破壊力を残しています。原子力発電も元をたせば、戦争用の原子力潜水艦用に開発されたものだけに「安全性」など二の次なのです。

人類は、核兵器も原子力発電所事故も抑制できていません。核兵器の廃絶と危険な原子力発電からの早期の撤退のためにも、日米安保条約をなくすことが強く求められます。(常任世話人・長尾正典)

第二回「戦争の傷あと 銘板」銘板めぐり&清掃ツアー 機銃掃射の弾痕残る

北野高校から 峠三吉 顕彰碑へ

第二回目となる今回は、阪急十三駅に集合し、北野高校まで徒歩で移動、北野高校では、教頭先生が応対、銘板の設置場所まで案内してもらいました。地元の歴史に詳しい、参加者の稲垣さんが米軍の機銃掃射で犠牲になった生徒を悼んで建てられた句碑について詳しく説明。(三頁参照)銘板の汚れを拭いて清掃、中川代表の挨拶と参加者の自己紹介の後、次の峠三吉顕彰碑へと移動しました。豊中市の岡町図書館正面玄関前に設置されており、日本語と英語で「にんげんをかえせ」の詩文が書かれています。詩

文の傍には、一九九五年一月一日に非核平和宣言都市・豊中市として建立された戦後五〇年・被爆五〇年「峠三吉」顕彰詩碑があります。

海軍魚雷保管庫あと

その後、阪急池田駅へ移動、バスで十数分の余野川沿いにある東山で下車、一五分くらい歩くと、旧海軍魚雷保管庫跡があった場所に到着です。しかし、その場所は、人が出入りしたり崩れたりすると危険だからという理由で、すでにコンクリートで塞がれており、周りを見ても立て看板もなく、そこに魚雷の保管庫があったことなど全くわかりません。地元の人話を総合すると、明治時代から磨き砂を採取するために採掘した穴が相当長いトンネルとなっていたので、軍が戦争末期に手を加え、魚雷貯蔵に使ったとのこと。すぐ横に五〇年近く住んでおられるHさんは、

防空壕跡

「二〇年ほど前に、土砂崩落が激しく、危険な状態があったので国・府で全部塞いでしまった」と語っておられました。魚雷保管庫跡を後にして、バス停までの道の花や植木を見学しながらブラブラし、会員が作ったカップケーキをいただきながら暫し休憩、その後バスで池田に戻り、そこからタクシーに分乗して、最後の見学地の十二宮神社境内へと向かいました。ここには、防空壕跡があり、銘板が設置されていました。午後五時、予定の行動を終え、解散しました。今回の銘板めぐりは一七名の参加がありました。次回の銘板めぐりは秋に計画します。

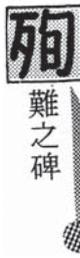


北野高校の歴史

「歴史散歩」の会主宰
稲垣泰平さんのおはな

五月八日「非核の会」の戦跡銘板めぐりで地元の北野高校へ行くという事なので、淀川区の「平和とみんな幸せを願う」立場から、歴史を発掘している者の一人として参加しました。北野高校は数年前に全面的な改装がされましたが、戦争の傷跡を後世に伝える物として、①正面前に戦前の校舎にあった「北中」のモニュメント、②校舎の西側に赤レンガのグラマンの弾痕碑（弾痕は二八個）が残りました。さらに赤レンガの前に③昭和二〇年六月一五日の空襲で中学校の泊りにあたっていた池田君、中島君が命を落としており、これを記念した「殉難之碑」が建立されました。現代的な校舎の北野高校に、なぜ三つの戦跡が残されたのか、これは北野高校の歴史を物語

っているわたしは思っています。北野高校は明治に入り西欧の文化が入ってくる中で、大阪の商人たちが、これに對抗し「自らの問題は自らで解決する」と、自分たちで明治六年に南御堂に開校した欧学校が発端です。当時は「女子の教育は国の盛衰にかかわる」と男女共学でした。その後、大阪府に寄付しますが、明治一三年に大阪府議会は「税金のムダ」と廃校決議をあげます。その間も大阪商人は自らの資金で学校を守り、明治一六年に再度大阪府立一番中学校となっています。自らの力で学校を守った大阪商人の気持ちと、北野高校の改築にあたって、戦後の願い「平和とみんな幸せ」を願って、三つの戦跡を残した思いを重ね合せることができると思います。



「殉難之碑」は大きな石で、裏にまわると

池田彰宏君のお母さんと中島要昌君のお姉さんの文章が刻まれています。池田君の母親、玉恵さんの「六月一日、今夜当番をして、あす朝帰ってきたらパンをとってきてあげるよと言います。またそんなことをいふ、一晩中夜警をするので必ず食べねばいかん、食べねばならぬまさかの時にお役に立たない。嬉しそうに拳の礼をし、出かけました。死んだ時、学校で彼のカバンを見たらパン二個とハンケチに包んだ米が入っていました」と刻まれ、中島要昌君の姉、宏子さんの「戦火のつゆと北野の庭あたらし三歳の命、父の断腸の思ひ弟へのたち切れぬ思ひ堰を切った流れの如く、あるいは渦を巻きあるいは濁流となり迫ってくる。無口だった弟つらいこともじつと我慢しほつぷふくらませ口をとがらせ涙ぐんで耐えしのぶ弟、草花を愛で本の間にと忍ばせ菓として私に見

せてくれた弟、僕の宝ものとして見せてくれた小箱北中の記章名札メダル綿をしきつめて丁寧に並べた、戻らぬ人と知りながらももしも居てくれればとせんなき思ひを走らせる」とあり、涙なしには読むことができません。



峠三吉詩碑の英語文 (裏面)

Give back the human Sankichi Toge (1917~1953)

Give back my father, give back my mother,
Give grandpa back, grandma back,
Give my sons and daughters back,
Give me back myself,
Give back the human race
As long as this life lasts, this life,
Give back Peace,
That will never end.

この一年の物語者のご冥福を祈っての黙とうに始まり、昨年のNPT再検討会議をはじめとする核兵器廃絶の運動の前進を踏まえて、核兵器禁止条約に向けた運動を強めることなどの本年度の運動方針が討議されました。

このたびの東

第二六回 全国総会 非核の政府を求める会



六月一日(土)、東京で非核の政府を求める会の全国総会が開催されました。

日本大震災による福島原発の事故は、ヒロシマ・ナガサキを彷彿とさせる惨状で、これまでの原子力行政の危うさが明らかとなり、原発からの脱却を求める発言が相次ぎました。

また、各地での取り組みの報告・交流されました。

大阪からは、恒例の自治体の非核平和施策調査と意見広告ポスターの取り組みとともに、平和記念銘板めぐり、ピースおおさかの交流と「原爆の火」などについて報告しました。そして、新しい役員体制を定め、「国民への訴え」を採択し、朝一〇時半から午後五時までの長い討議が締めくくられました。(事務局 中西裕人)



連続講座：原子力 ⑩

資源・エネルギー問題と原子力

元京大原子炉講師、香川大学名誉教授 中川益夫

これまで原子力の平和利用と軍事利用の両側面を交互に見てきた。ウラン鉱石の採掘から濃縮・加工までは、両者に共通である。その後原子炉か、核爆弾への道へ行くかに分岐点がありそうだ。

人類の平和共存の道を選択するなら、まず何より核兵器廃絶を実行しなければならない。軍事利用としては究極の兵器と言われる原子力潜水艦（原子力で数か月連続潜航でき、核弾頭装備で水中発射が出来る）や原爆・水爆の破壊力にもものを言わせた核兵器が主流でも、地球の限られた資源を威力競争や戦争の道具に使うのは人類の自殺行為でしかないだろう。他方、平和利用にも大困難がある。

石炭、石油、天然ガスは地球資源として無限ではない。原子力利用もウラン-プルトニウム系ではPuの核兵器転用が危険だし、資源で有利なりチウム（核融合用Li）やトリウム〔溶融塩炉用Th〕の利用はまだ開発途上である。再生可能エネルギーとして太陽光・熱や、風力、地熱、バイオ（木材等生物の分解・合成力を利用）や水力利用が見直されてきている。筆者は従来次のように提案してきた。

月：潮汐力 月の引力による潮の満ち干、潮流のほか、波力や海洋温度差利用など。
 火：火力 石炭・石油・天然ガス等化石資源の利用。可採埋蔵量も後数十年程度と見積もられている。
 水：水力 再生可能エネルギー（揚水可）として利用されてきたが、ダム建設等副次的な問題を伴う。
 木：木材・アルコール・メタンガス等のほか生物の力の利用開発。微生物も活躍の余地あり。
 金：天然産ウラン・トリウム核燃料の利用。但しウラン-プルトニウム系は核兵器への連動に難。
 土：地熱や風力などを含め、再生可能エネルギーとして見直す価値あり。水中立地も試行中。
 日：太陽光・熱の利用。再生可能エネルギーの主力候補。プラズマ核融合は未だ基礎研究中。

いずれにしても獲得した大容量の電力を蓄えておく装置／機器の開発が望まれる（ノーベル賞級？）。

以上の選択肢を視野に入れて、それぞれの地域や環境にマッチした規模・方法を迫りしてゆく「新エネルギー開発研究」がスタートできることが望ましい。競争ではなく、相互批判・相互援助を通じてより安全・安心な計画・成案・実行が出来てゆくことが望まれる。予算はなるべく公費で、組織・人員は公募なり有志を募るなり、縛りのかからない方式が望まれる。

こうした方式は、将来、資源枯渇の壁に直面したとき、縄張り（独占）や押し付け（売りつけ）、更には争奪・戦争などになることなく円満に必要なエネルギーの生産・消費につなげていくための国際的・国内的・地方的の下準備も兼ねる筈である。

さて、2011年3月11日、マグニチュード9.0の巨大地震とそれに続く大津波が、福島第一原子力発電所の事故を誘発した。天災が直接原因としても、「備えあれば、憂いなし」の条件を整えていなかった人災による過酷事故（原子力事故評価尺度でグレード7のチェルノブイリ事故相当）に進展してしまった。原子力発電、とりわけ軽水炉の現状と将来が危ぶまれる事態になった。

この際、原子力開発の歴史を振り返り、大前提である核戦争阻止・核兵器完全禁止・被爆者援護連帯の精神と、原子力平和利用三原則、民主・自主・公開の原則を改めて確認したい。

政治・経済的な横の繋がりでは国連を筆頭に国際会議やサミットなどがおこなわれているし、一定効力を発揮するようになって来た。地球規模の大気汚染・気候変動でもCOPなどで話し合いが持たれ、協議・協定のテーブルが出来てきた。

核兵器問題でNPT再検討会議その他、大衆運動では原水爆禁止世界大会などで定期的な集会がもたれている。資源・エネルギー問題ではどうか。国際的な検討会議があるのか、ないのか。IAEA？

どんな条件下でも、人類は生き延びる道を見いだして、生き延びてゆかねばならない。草の根の運動の発展が、必要で有効な組織・機構・方法を生み出してゆくであろう。

Necessity is the mother of invention! [連続講座完]

2011年度 各自治体

非核・平和 施策紹介

毎年各自治体で実施される非核平和施策を紹介いたします。これは市町村の関係部門へのアンケートを基に当会が集約した今年度のものです。関係者の皆様のご協力に感謝します。(5月集約)

自治体	大阪府	大阪市
担当課	府民文化部人権室	総務局行政部総務課
一般市民向け行事・施策	大阪府・大阪市の出資法人である財団法人大阪国際平和センター(ピースおおさか)を通じて、戦争・平和に関する展示、映画上映、資料貸出、戦跡ウォーク等を実施。(小・中学生は入館料無料、子ども向け映画上映等)	ピース大阪において映画上映会等を実施
上記以外の施策	特になし	
予算	大阪国際平和センター(ピースおおさか)への補助金 51,344千円	41,526千円(財団法人大阪国際平和センターへの運営補助)
常設の非核・平和資料館または施設	財団法人大阪国際平和センター (ピースおおさか)	財団法人大阪国際平和センター (ピースおおさか)
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	未加盟	未加盟
世界平和市長会議への加盟状況	未加盟	加盟
HP	大阪府HP (http://www.pref.osaka.jp/jinken/)で、「ピースおおさか」の催し等を紹介	大阪市 HP において平和都市宣言を掲載 (http://www.city.osaka.lg.jp/somu/page/0000005381.html)
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	平和行進等へ知事メッセージを送付	平和行進等にかかるメッセージを送付
非核平和についての懇談会実施状況	特になし	実績なし
放射線測定器の所有の有無及び種類	有 γ線用シンチレーションサーベイメータ γ線電離箱式サーベイメータ α線用シンチレーションサーベイメータ GM計数管式サーベイメータ 中性子線用サーベイメータ 可搬式モニタリングポスト 可搬式サンプラー	なし
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	平成21年5月25日に北朝鮮が行った核実験に対する抗議文を送付(平成21年5月26日)	(最新)平成23年5月24日 アメリカ合衆国の臨界前核実験に対する抗議及び中止要請について行った抗議回数(通算)38回目(うち臨界前核実験に対して27回目)米国が実施した臨界前核実験に対して21回目
姉妹都市・友好都市との国際交流	9カ国10都市との友好交流提携を締結 中国・上海市、江蘇省 インドネシア・東ジャワ州 フランス・ヴァルドワーズ県、オーストラリア・クイーンズランド州、ロシア・沿海地方、アメリカ・カリフォルニア州、イタリア・ロンバルディア州、アラブ首長国連邦・ドバイ市、ベトナム・ホーチミン市	サンフランシスコ(アメリカ)、サンパウロ(ブラジル)、シカゴ(アメリカ)、上海(中華人民共和国)、メルボルン(オーストラリア)、サンクト・ペテルブルグ(ロシア)、ミラノ(イタリア)、ハンブルク(ドイツ) スポーツ・学術・文化・経済など様々な分野において、多数の市民の参加のもとに都市交流を推進している。
被爆者数	7127人	所管部署なし
内認定被爆者数	224人	
被爆者団体名	一般社団法人大阪府原爆被害者支援協会	
被爆者援護施策	「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づく施策の実施	

自治体	堺市
担当課	
一般市民向け行事・施策	ヒロシマ原爆展の開催(8/4~10) 「平和と人権を考える市民のつどい」の開催 7/10 (堺市の補助団体である世界人権宣言促進堺連絡会の主催) 「平和と人権展」の開催 8/18~8/23 小・中学生への啓蒙活動や施策 人権教育課を中心に学校・PTAを対象に研修を実施
上記以外の施策	8月に「非核平和宣言都市・堺市」の懸垂幕を市役所、各区役所に掲載
予算	平和と人権を尊重するまちづくり条例推進事業費 4,002,000 円 自由都市・堺 平和貢献賞 8,550,000 円 平和と人権展 2,297,000 円 平和と人権資料館運営費 31,828,000 円 世界人権宣言促進堺連絡会事業補助金 1,217,000 円 堺原爆被害者の会補助金(2 団体に交付) 160,000 円
常設の非核・平和資料館または施設	「堺市立平和と人権資料館」(フェニックスミュージアム)
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	加盟
世界平和市長会議への加盟状況	加盟
HP	堺市 HP http://www.city.sakai.lg.jp/ 人権部 HP http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_jinkenbu/ 堺市立平和と人権資料館 HP http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_jinken/index.html 堺市人権教育推進協議会 HP http://www.jinkenkyo.jp/
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	飲み物の提供による協力 ・反核平和マラソン ・原水爆禁止国民平和大行進 ・反核平和の日リレー ・被爆 65 周年 2010 年非核・平和行進(平成 22 年度実績) 後援 ・堺原爆展(平成 22 年度実績)
非核平和についての懇談会実施状況	未定
放射線測定器の所有の有無及び種類	有 GM 式カウンター
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	アメリカ合衆国臨界前核実験に対して抗議文送付(平成 22 年 10 月 14 日) アメリカ合衆国新型核実験の実施に対する中止要請文送付(平成 23 年 5 月 25 日)
姉妹都市・友好都市との国際交流	姉妹都市 パークレー市(アメリカ合衆国)、ウェリントン市(ニュージーランド) 友好都市 連雲港市(中華人民共和国)
被爆者数	659人(平成23年3月31日)
内認定被爆者数	21人(厚生労働大臣から原爆症の認定を受けた者平成23年3月31日現在)
被爆者団体名	堺・原爆被害者の会(広長会) 堺・原爆被害者2世の会 美原区原爆被害者の会
被爆者援護施策	原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく健康診断(大阪府からの委託による) 各種申請等の大阪府への経由等



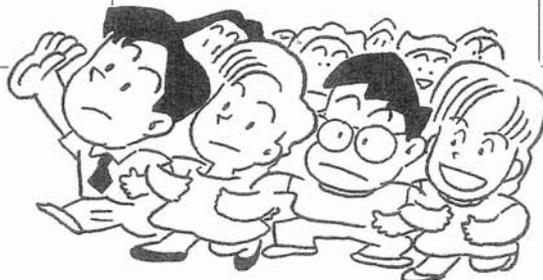
自治体	豊中市
担当課	人権文化部 人権政策室
一般市民向け行事・施策	<p>平和月間事業 (講演・上映など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画上映 戦争と平和に関する映画8月毎週土～火曜日(高川図書館) ・ほたる平和映画会 8/15 蛸池公民館 ・震災を考える講演会 8/20 蛸池公民館 ・わがまち蛸池「平和と人権週間」人権講演会 7月～8月(予定)蛸池人権まちづくりセンター) ・「平和のつどい」講演 原爆の日や終戦記念日に向けて、被爆体験をもつ歴史や戦争があることを語りついでいくことを通して、生命の大切さを考える機会とする。7/6、8/3(豊中人権まちづくりセンター) ・人権文化のまちづくり講座 日時未定(豊中人権まちづくりセンター) ・平和に関するビデオ上映 8月下旬予定(千里公民館) ・旭堂南北一人語り「ひ・ろ・し・ま」※語り芸の魅力を通して平和の大切さを考え合う機会とする。「ひ・ろ・し・ま」にまつわる被爆者の思いを一人語りで伝える。広島にまつわる被爆者の思いをテーマとして演目を決定する。8/27 市民100人入場無料(伝統芸能館) (展示・催しなど) ・わがまち蛸池「平和と人権週間」人権パネル展示 7月～8月予定(蛸池公民館) ・ひと・まち・であい夏まつり「平和への願い」コーナー 平和地蔵人形に平和への願いをたんざくで飾る 7/23(轟木公園グラウンド) ・人権パネル展日時未定(豊中人権まちづくりセンター) ・平和月間「ちょっと知っとこ平和のこと」 <p>原爆の日や終戦記念日に向けて、被爆体験をもつ歴史や戦争があることを語りついでいくことを通して、生命の大切さを考える機会にする。(1)絵本「はらっば」の掲示 7/6～8/15(2)折り鶴コーナーの設置 7/6～27(豊中人権まちづくりセンター)①ほっとス平和交流 世代を超えての平和交流の場を設けます 7/22②ひと・まち・であい夏まつり「平和コーナー」7/23(憩いの家・轟木公園)</p> <p>震災を考えるパネル展示 8/13～21(蛸池公民館)ほたる発・世界へ～メキシコいろいろ話～8/24(蛸池公民館)</p> <p>平和月間パネル展 美しき海に残る戦争の傷あと―海底に眠る艦船―7/15～21(庄内公民館) 豊中市の平和月間に合わせ、大阪国際平和センター所蔵の写真パネル及び説明パネルにより、大阪空襲全体像を紹介 8/19～24 予定(青年の家いぶき) 平和標語の広報 平和標語をより多くの人に知ってもらうため、6月初旬に決定される平和標語を掲載8月中(市内8図書館)</p> <p>平成23年度戦没者ならびに空爆犠牲者追悼式※戦没者及び空爆犠牲者の冥福を祈り、平和を祈念する(無宗教・献花方式で追悼を行う)10/1(とよなか男女共同参画推進センター)</p> <p>平和月間横断幕掲出 豊中市が非核平和宣言都市であり、日本非核宣言自治体協議会と平和市長会議の加盟市であることや、8月を平和月間と定めていることを広く市民に知ってもらう。8月中(市役所庁舎壁面)</p> <p>展示「戦争と平和の本」 市内8図書館において、近代から現在までの戦争と平和に関する本を幅広く集め、展示・貸出を実施。岡町図書館 8/2～8/31 服部図書館 7/1～8/31 庄内図書館 8/2～8/31 高川図書館 7/23～8/31 千里図書館 8/2～8/31 東豊中図書館 8/2～8/31 野畑図書館 7/5～8/31 蛸池図書館 7/23～8/31 (その他)</p> <p>市内19保育所では、各保育所に通う子どもたちと保護者を対象に、人権や命の大切さや平和について学ぶための様々な取り組みを行う6月～9月</p>
上記以外の施策	
予算	1,092,000円
常設の非核・平和資料館・施設	なし
日本非核自治体協議会への加盟	加盟
世界平和市長会議への加盟	加盟
ホームページ	市ホームページへの平和関連情報を一元化し公開する。 平和月間事業の市主催事業を集約し、それに基づく事業連携広報についての提案をする。
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	市民団体の平和の取り組みへの後援を行っている
非核平和についての懇談会実施状況	実施実績なし
放射線測定器の所有の有無及び種類	有 9器所有(電離箱式4器・GM式4器・シンチレーション式1器 その他、個人用デジタル警報線量計71器)
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	2010年9月15日にネバダ州の核実験場で24回目の未臨界核実験を実施したとの報道に接し、非核平和宣言都市として、10月14日付で抗議文を送付 2010年11月と2011年3月にニューメキシコ州のサンディア国立研究所で新型の核性能実験を実施していたとの報道に接し、2011年5月24日付で抗議文を送付
姉妹都市・友好都市との国際交流	アメリカ合衆国サンマテオ市 少年野球チームの交流試合、高校生英語弁論大会の開催、同大会成績優秀者を親善使節として同市に派遣している。
被爆者数	把握していない
内認定被爆者数	把握していない
被爆者団体名	豊中市原爆被害者の会
被爆者援護施策	高齢被爆者相談等事業

自治体	吹田市	高槻市
担当課	自治人権部 人権平和室	市民参画部人権室内権課
一般市民向け行事・施策	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生への啓蒙活動 人権と平和をテーマにした「じんけん作品」の募集 ・市民平和のつどい 非核平和資料展「いわさきちひろ 絵本」パネル展(仮題)、「ちひろ 平和への願い」複製画(仮題)及び戦争中の現物資料等の展示。8/3～8/9 平和コンサート「ケルト音楽の旅路」8/5 ・平和祈念資料室管理運営 市民から提供された戦時中の生活用品や軍隊に関する現物資料等の常設展示。平和に関する資料の収集、貸出 ・平和映画会 平和祈念資料室で土・日曜日のうち月三回、平和にちなんだビデオを上映 4月「紙屋悦子の青春」、5月「わが故郷の歌」、6月「上海特急」、7月「硫黄島」、8月「はだしのゲン2」、9月「ジャック・サマースビー」 ・平和祈念資料室企画展 「来て、見て、知って 戦争と平和」(仮題)戦時中の食生活の説明パネルとシベリア抑留体験を絵で綴ったパネルの展示 8/2～8/28 ・平和祈念資料室だよりの発行 ・非核平和都市宣言シンボル旗の作成 	<p>「非核・平和への取り組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非核平和都市宣言の周知(HP や看板等) ・全国非核平和都市宣言自治体との連携 ・核実験への中止要請と抗議 ・平和モニュメントの管理 ・被爆の石の管理 ・平和展事業の開催 ・その他事業 被爆アオギリ2世の植樹(予定) <p>資料保全(タチソパネル模型、語り部ビデオ等)</p> <p>①今年度の「平和展事業」8/4、8/5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展・コーナー <ul style="list-style-type: none"> ・戦時資料の展示 ・パネル(戦争・原爆に関するもの)の展示 ・折鶴・平和の木コーナー ・手作りおもちゃコーナー ・戦中食試食コーナー(4日) ・講演会: 井筒和幸監督による講演会 平和と人権 ～愛、平和、パッチギ!～(4日) ・音楽祭: 市民参加の音楽祭(5日)
上記以外の施策	<ul style="list-style-type: none"> ・日本非核宣言自治体協議会関連 広島平和記念式典及び長崎平和祈念式典参列 日本非核宣言自治体協議会総会に参加 	<p>非核平和都市宣言旗の作成</p> <p>各種非核平和行進隊へのメッセージ送付 黙とうの実施(8月6日と9日)</p>
予算	13,050,000円	非核平和都市宣言旗 21,000円、平和モニュメント等の清掃 59,850円、日本非核宣言自治体協議会分担金 60,000円、平和展事業 918,500円 計 1,059,350円
常設の非核・平和資料館または施設	平和祈念資料室	資料館等はないが、総合センター8Fに人権・文化啓発コーナーを設置し、非核・平和に関するビデオ等や、市民から寄贈していただいた戦争遺品を展示。
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	加盟	加盟
世界平和市長会議への加盟状況	加盟	未加盟
HP	http://www.city.suita.osaka.jp/	http://www.city.takatsuki.osaka.jp/db/jinken/hikakuheiwa.html
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	吹田市「平和の塔」実行委員会 平和行進への協力	市が主催する平和展等の平和事業の企画運営を一般社団法人「高槻市人権まちづくり協会」に委託し市民団体の育成を図っている。地域で行われる平和展等にパネルや戦争遺品等無償で貸し出し。
非核平和についての懇談会実施状況	なし	なし
放射線測定器の所有の有無及び種類	有	なし
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	2010年11月及び2011年3月のアメリカ合衆国の新型の核性能実験に対し、在本邦アメリカ合衆国大使館特全権大使あてに抗議文を送付。2010年9月15日のアメリカ合衆国未臨界核実験に対し、在本邦アメリカ合衆国大使館特全権大使あてに抗議文を送付。2009年5月25日の朝鮮民主主義人民共和国の地下核実験に対し朝鮮民主主義人民共和国及び朝鮮民主主義人民共和国の国連大使あてに抗議文を送付。2006年10月9日の朝鮮民主主義人民共和国の地下核実験に対し、朝鮮民主主義人民共和国及び朝鮮人民共和国の国連大使あてに抗議文を送付。	<p>(過去の抗議については、HPに掲載)</p> <p>2010年10月14日 アメリカ合衆国臨界前核実験に対して</p> <p>2011年5月23日 アメリカ合衆国核実験(新型の核性能実験) 抗議</p>
姉妹都市・友好都市との国際交流	友好都市:スリランカ モラトワ市、オーストラリア バンクスタウン市 使節団の派遣、受入れ 文化・スポーツ交流	平和を課題とした国際交流は実施していない
被爆者数	250名(平成23年3月31日現在 吹閃会会員数)	大阪府が把握
内認定被爆者数		大阪府が把握
被爆者団体名	吹田市原爆被害者の会(吹閃会)	高槻市原爆被害者の会
被爆者援護施策	<ul style="list-style-type: none"> 原子爆弾被害者相談活動への援助 原爆被害者支援活動補助金 原子爆弾被爆者に対する療養旅費補助金 原爆被害者二世健康管理手帳の交付、二世健康調査被爆者二世に対する医療費助成 	医療費の給付、市バス無料乗車証の交付

自治体	茨木市	箕面市
担当課	総務部人権・男女共生課	人権文化部人権国際課
一般市民向け行事・施策	非核平和展を開催 8/9～8/14 市役所本庁において、原爆死没者を慰霊し、あわせて世界恒久平和を祈念するための黙とうの実施を市民に呼びかける庁内放送を実施 8/9 阪急茨木市駅並びに JR 茨木駅前にて非核平和街頭啓発を実施 8/9	市広報紙による啓発(12月号) 「もみじだより 12月号」の人権ページ「心の樹」に平和の尊さを考えてもらう記事を掲載 平和関連のパネル展(日時未定)パネル展等を行う予定(らいとびあ 21) 平和関連のパネル展(日時未定)パネル展等を行う(ヒューマンズプラザ) 戦時生活資料展予定(郷土資料館)
上記以外の施策	被爆石の設置(中央公園) 市庁舎に懸垂幕を掲出 市公用封筒に非核平和啓発標語を印刷 市内各公共施設に非核平和都市宣言パネルを設置	平和モニュメント「青い地球」を箕面駅前再開発に伴い、市役所前へ移設した。その他、箕面市非核平和都市宣言の周知・啓発など。
予算	1,590,000 円	平和施策のみならず、人権、国際理解などとして、一体化した事業として、「ヒューマンコミュニティみのお推進事業」61 千円
常設の非核・平和資料館または施設	市立文化財資料館の常設展示の一部に戦時中の資料展示あり	なし
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	加盟	未加盟
世界平和市長会議への加盟状況	未加盟	加盟
HP	市 HP に非核平和啓発記事を掲載	http://www.city.minoh.lg.jp/kurashi/heiwa/jgyou/index.html
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	なし	未定
非核平和についての懇談会実施状況	なし	平成 23 年 3 月 4 日 大阪よどがわ市民生協と懇談
放射線測定器の所有の有無及び種類	有 サーベイ&ドジメーター4台、 ポケット線量計 34 台	なし
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	本年 5 月 24 日付で、昨年 11 月、本年 3 月に実施された、米国による新型核性能実験に米国大使に対し市長名で抗議文を送付。	その都度、市長名の抗議文を大使館宛送付。昨年度は米国の未臨界核実験に抗議。(平成 22 年 10 月 15 日)過去のデータは HP 参照
姉妹都市・友好都市との国際交流	(姉妹都市)アメリカ合衆国ミネアポリス市 (友好都市)中国安慶市	国際協力都市:ニュージーランド・ハット市 国際友好都市:メキシコ・クエルナバカ市 青少年交流と異文化体験(ホームステイ、学校訪問等)
被爆者数	不明	128 名
内認定被爆者数	不明	不明
被爆者団体名	茨木市原爆被害者の会	箕面市原爆被害者の会
被爆者援護施策	茨木市原爆被害者の会に補助金を交付	大阪府が年2回実施する健康診断を受診する市内在住の被爆者への奨励金支給



自治体	池田市	摂津市
担当課	池田市市長公室危機管理課	市長公室 人権女性政策課
一般市民向け行事・施策	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行で小学校は広島、中学校は長崎・沖縄を訪れ平和学習を実施 ・各小・中学校とも7～8月に非核・平和に関する学習を行っている。 ・人権や非核・平和をテーマにした作文やポスターを募集し、人権作文集・人権カレンダーを作成して、全児童生徒に配布している。 ・人権ポスター展を開催。 	平和イベント(7月～8月) ・平和パネル展(7/27～8/1) 「子どもたちの平和ポスター」展 「原爆と人間」展 ・映画会 「ヒックとドラゴン」(7/30) 「ふたたび」(7/31) ・平和派遣 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に2名派遣(8/8～8/9) ・平和祈念黙とう(8/9) ・平和図書コーナー(7/20～8/31) ・ピース映画会 パコと魔法の絵本(8/6)カールじいさんの空飛ぶ家(8/6) どらえもん のび太の人魚大海戦(8/6)リロアンドスティッチ(8/7)ウルルの森の物語(8/7)きなき(8/9)忘れえぬ想い(8/27) ・平和映画会 火垂るの墓(7/30)命のビザ(7/31) ・あたりまえの平和な生活って? 震災をみつめる(7/30)
上記以外の施策	平和行進団体の激励、メッセージ	7、8月の摂津市平和月間のPRチラシの配布
予算	805千円(市民安全実行委員会事務事業)	839,000円
常設の非核・平和資料館または施設	平和パネル(市立図書館・歴史民族資料館)	なし
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	未加盟	未加盟
世界平和市長会議への加盟状況	未加盟	加盟
HP	なし	「憲法を守り人間を尊重する平和都市宣言」をHPに掲載 http://www.city.settsu.osaka.jp/0000000567.html
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	池田市原爆被害者の会主催原爆被害写真展への後援	世界人権宣言摂津連絡会議と平和イベントを共催する
非核平和についての懇談会実施状況	なし	なし
放射線測定器の所有の有無及び種類	なし	なし
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	平成21年5月25日実施北朝鮮による核実験実施に対する抗議文を送付	アメリカ合衆国が実施した臨界前核実験に対し、平成22年10月14日と平成23年5月25日に抗議文を送付
姉妹都市・友好都市との国際交流	交換学生の派遣(ローンセストン市)職員派遣、疎州市訪問(疎州市)	中国に1市、オーストラリアに1市 摂津市国際交流協会が中心になって交流している。
被爆者数	市として把握していない	被爆者1世 65(概算) 被爆者2世 70(概算)
内認定被爆者数	市として把握していない	60(国の被爆者健康診断受診者数より) 64(市医療費助成登録者数)
被爆者団体名	池田市原爆被害者の会	摂津市原爆被害者福祉協議会(1世・49名、2世・45名)
被爆者援護施策	水道料金減免(上下水道)	市立温水プール利用料免除(市の独自制度)被爆者手帳提示により、利用料無料(1世) 原爆被爆者二世に対する医療費助成(市の独自制度、医療費の一部負担金を公費で助成。所得制限あり) 原爆被爆者二世に対する一般健康診査(都道府県制度、市では保健福祉課で実施)



自治体	島本町	豊能町	能勢町	枚方市
担当課	総合生活部人権推進課	生活福祉部住民人権課	総務部総合企画課	市長公室人権政策室
一般市民向け行事・施策	7月人権と平和のつどい	小中学校の修学旅行「広島・長崎」	8月に「平和のつどい」を開催予定	住民団体、学校単位で要望がある際に、戦争遺跡等の見学説明会を開催 7月 平和映画会 8月中旬(予定) 平和資料室特別展・その他 3月 枚方市平和の日記念事業 講演会及び平和資料室特別展(予定)
上記以外の施策	平和人権バスツアー、平和啓発アニメ上映、終戦記念日に関連した平和啓発記事の広報掲載	未定	該当なし	現在検討中
予算	460千円	なし	1,140千円(人権のつどいを含む)	2,892,000円
常設の非核・平和資料館または施設	人権・平和資料室	なし	該当なし	枚方市立中央図書館1階 平和資料室
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	加盟	未加盟	参加していない	加盟
世界平和市長会議への加盟状況	未加盟	未加盟	参加していない	加盟
HP	http://www.shimamotocho.jp/gyousei/kakuka/sougou-seisakubu/jinkensuisin/heiwa/index.html	「非核平和都市宣言」を掲載 http://www.town.toyono.osaka.jp/www/contents/1255600210664/index.html	該当なし	なし(簡単なものは枚方市HP内に「枚方市の平和施策」として設定)
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	平和市民マラソン等へのメッセージの送付	なし	特になし	特になし
非核平和についての懇談会実施状況	平成23年3月18日大阪よどがわ市民生活協同組合と懇談会を実施	なし	特になし	特になし
放射線測定器の所有の有無及び種類	なし	なし	所有していない	なし
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	平成22年10月15日アメリカの臨界前核実験への抗議文をアメリカ大使館へ送付。要請文を内閣総理大臣へ送付	なし	特になし	日本非核宣言自治体協議会と連動して抗議を行っている
姉妹都市・友好都市との国際交流	なし	なし	なし	特になし
被爆者数	25人	不明	町では把握していない	枚方市としては把握していない
内認定被爆者数	25人	不明		枚方市としては把握していない
被爆者団体名	島本エーボン被害者の会	豊能町原爆被害者の会		枚方市原爆被害者の会 枚方市原爆被害者二世の会
被爆者援護施策	福祉金の支給(月額1人2,500円)、健康診断に係る送迎	なし		「被爆者二世健康管理表」発行事業

自治体	寝屋川市	守口市	門真市
担当課	人・ふれあい部 人権文化課	市民生活部人権室	人権政策課
一般市民向け行事・施策	①平和を考える市民のつどい 7/16(寝屋川市立総合センター2階講堂)講演会「ぼくは13歳 職業、兵士。～ウガンダの元子ども兵士が教えてくれたこと」講師:鬼丸昌也さん ②平和のバラ苗木配布 12/3(寝屋川市立総合センター1階) 平和のバラを育てることにより、幸福と恒久平和を再認識するために、希望する市民に抽選でバラの苗木を配布 ③ねやがわピース 8/6「平和の塔」前(初本町公園内)平和祈念コンサート、被爆体験証言者の語りを中心に、多くの市民と協働して、平和のオブジェの製作・展示をはじめ、戦争・原爆関連のパネル展示 ④親と子の平和バスツアー8/2(日) 舞鶴市立赤レンガ博物館、舞鶴引揚記念館の見学 ⑤平和行進 6月～7月 あいさつ、お茶の接待等(平和関係団体来庁予定)本庁玄関前 ⑥黙祷(庁内放送) 寝屋川市民等来庁者に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙祷の呼びかけ	「平和のつどい」講演会・アニメ映画を8/12 予定	①人権・平和に関する講演会の実施8月 内容:未定 講師:未定③小・中学生への啓蒙活動や施策 (1)市内15小学校で修学旅行等での平和学習の実施 内容:千羽鶴の作成、原爆資料館の見学、修学旅行前の平和学習と原爆資料館見学後の平和学習 (2)市内中学校の修学旅行での平和学習の実施、内容:修学旅行前の平和学習と沖縄での平和学習、その後の平和学習
上記以外の施策		8月6日・9日被爆の日に黙とう。	①非核平和に関するビデオの購入と貸出 ②平和行進への対応
予算	平和を考える市民のつどい 798 千円 平和のバラ苗木配布 200 千円 ねやがわピース 813 千円 親と子の平和バスツアー14 千円 平和行進 5 千円	市予算 4 万円	35,000 円(担当課の総額)
常設の非核・平和資料館または施設	資料館はなし。(寝屋川市立総合センターに展示コーナーは有)	なし	なし
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	加盟	未加盟	未加盟
世界平和市長会議への加盟状況	加盟	加盟	加盟
HP	http://www.city.neyagawa.osaka.jp/index/soshiki/jinken.html	なし	なし
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み		検討中	・2011 ピースフェスタ門真(市と教育委員会の後援) ピースフェスタ門真実行委員会
非核平和についての懇談会実施状況	寝屋川市原水爆禁止協議会との懇談会(1/19 実施)	未実施	なし
放射線測定器の所有の有無及び種類		無	無
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	アメリカ合衆国における臨界前核実験に対し抗議文を送付平成22年10月14日	平成	アメリカ合衆国による臨界前核実験実施に伴う抗議
姉妹都市・友好都市との国際交流	姉妹都市:ニューポートニューズ市(アメリカ合衆国バージニア州)オークビル市(カナダオンタリオ州) 友好都市:上海市盧湾区(中華人民共和国)和歌山県すさみ町	姉妹都市:カナダ・ニューウェストミンスター市 友好都市:中国・中山市	オランダのアイントホーフェン市、ブラジルのサン・ジョゼ・ドス・カンボス市、兵庫県香美町と姉妹都市交流 非核平和に関する交流は特になし
被爆者数	215 人	未把握	91 人
内認定被爆者数	215 人	未把握	不明
被爆者団体名	寝屋川市原爆被害者の会	守口市原爆被害者の会	門真市原爆被害者の会
被爆者援護施策	被爆者の検診(春・秋) パネル展・核廃絶平和式典等	なし	門真市原爆被害者の会への助成

自治体	大東市	交野市	四條畷市
担当課	生涯学習部人権啓発課	地域社会部暮らしの安心課	総務部人権政策推進課
一般市民向け行事・施策	ヒロシマ親子記者事業 折り鶴コーナーの設置 広報誌や防災無線を使って広島・ 長崎の原爆投下時間に黙持 平和パネル展 親と子で平和を考えるつどい 戦跡をめぐるツアー	平和祈念式典(未定) 平和の鐘打鐘(市内寺院の 協力により8/6、8/9 実施予 定) 平和パネル展(人権週間事 業として12/4 実施予定)	平和展 ～子どもたちの未来へ～(子 どもたちが描く絵展示)8/5～ 8/7
上記以外の施策	なし	なし	平和行進・平和の火リレー受 入れ
予算	1,091 千円	300,000 円	426,000 円
常設の非核・平和資料館ま たは施設	なし	戦争遺物の常設展示(交野 市向井田 2-5-1 いきいきラン ド)	なし
日本非核宣言自治体協議会 への加盟状況	加盟	未加盟	未加盟
世界平和市長会議への加盟 状況	加盟	加盟	加盟
HP	非核・平和の事業があるときに掲 載	http://www.city.katano.osak a.jp/ (HP上の各課紹介 →人権政策室担当に記載)	なし
市民団体・草の根運動との 共催又は後援の取り組み	していない	交野市「平和と人権を守る都 市宣言」を進める実行委員会 への補助及び平和祈念式典 の共催	なし
非核平和についての懇談会 実施状況	していない	「平和と人権を守る都市宣 言」を進める実行委員会との 会議開催	なし
放射線測定器の所有の有無 及び種類	なし	なし	なし
地下核実験や未臨界核実験 等への抗議状況	2010年9月15日にアメリカ合衆国 西部ネバダ州の地下核実験場で 核爆発を伴わない未臨界核実験 を行った際、抗議文をアメリカ合衆 国大使館(アメリカ合衆国大統領あ て)に送付 2010年11月と2011年3月にアメ リカ合衆国ニューメキシコ州のサン ディア国立研究所で核兵器の新た な性能実験を実施した際、抗議文 をアメリカ合衆国大使館(アメリカ 合衆国大統領あて)に送付。	核実験が行われたことが判明 した時点で抗議文を送付	2010年10月15日・2011年 5月25日大使館に抗議文送 付
姉妹都市・友好都市との国 際交流	なし	友好・姉妹都市:カナダ・コ リングウッド市 派遣と受入れ 事業	友好都市: ドイツメアブッシュ市
被爆者数	98名	76人	不明
内認定被爆者数	2名	2人	43名
被爆者団体名	大東市原爆被害者の会	原爆被害者の会	原爆被害者はづきの会
被爆者援護施策	団体補助交付金	なし	なし

自治体	東大阪市	八尾市	松原市
担当課	人権文化部人権室人権啓発課	文化国際課	総務部政策法務課
一般市民向け行事・施策	住民へ 7月平和アニメフェスティバル、 8月平和資料展、平和パネル展 などを実施 小中学生へ 原爆被害者の体験講話、各学 校での平和教室	平成23年度八尾市非核平和事 業 未来へのきずな びーすあ んどびーす 7/5～8 小・中学 生向け講演会 長崎被爆体験 講話 市内小中学校 16校で実 施 語りべ:(財)長崎平和推進 協会から2名 平和講演会	非核平和展開催 8/8～8/12(市役所1 階市民ロビー)テーマ:『語り継ごう、こ ども達の未来のために』 ・原爆の凶丸木美術館所蔵のパネル 展示 ・大阪国際平和センター所蔵 のパネル展示 ・その他写真・パネル展示(企画中) ・特別企画展示 戦時中の物品の展 示 ・体験コーナー 折鶴(千羽鶴)、 当時の子ども達の遊び、街頭紙芝 居、平和を願うミサンガづくり ・読書コーナー 平和関連の図書や 絵本 ・ご意見コーナー ・啓発物品の配布
上記以外の施策	人権・平和関連ビデオ貸出	8/1～31 懸垂幕「非核・平和宣 言都市 八尾市」の設置(予定) 8/6、8/9 黙とうの実施(予 定) 8/8～12 平和パネル展(予 定)	市役所正面に非核平和宣言都市の 固定型看板を設置 市役所中庭に平和を願うアンネのパ ラ、愛吉・すずのバラを植栽 市役所1階ロビーに平和の鐘を設置
予算	平和行事経費 1,606 千円(暫 定)	2,011 千円	820 千円
常設の非核・平和資料 館または施設	「平和の女神像」「平和の灯」 「非核平和都市宣言記念碑」 他、非核「平和都市」宣言のプ レート及び碑を設置	平和モニュメント「光の道しるべ」	なし
日本非核宣言自治体 協議会への加盟状況	加盟	加盟	未加盟
世界平和市長会議へ の加盟状況	加盟	加盟	加盟
HP	事業についてはHPに掲載 http://www.city.higashiosaka.o saka.jp/060/060060/index2.ht ml	http://www.city.yao.osaka.jp/ (各課の窓口⇒人権文化ふれあ い部⇒文化国際課⇒非核・平 和への取り組み) http://www.city.yao.osaka.jp/s oshiki/4-4-0-0-0.7.html	松原市非核平和都市宣言及び8月 月上旬開催の非核平和展について掲 載 http://www.city.matsubara.osaka.jp/
市民団体・草の根運動 との共催又は後援の 取り組み	平和のつどいは、東大阪市人 権啓発協議会、東大阪市人権 擁護委員会と共催。各団体の平 和行進に協賛	市民団体の申請により審査を行 い後援している(今年度は現時 点では申請なし)	なし
非核平和についての 懇談会実施状況	現在予定なし	なし	なし
放射線測定器の所有 の有無及び種類	有 サーベイメータ 線量計	有 消防本部において所有 電子式個人線量計 5 台 レムガード 1 台 電離式サーベイメータ 1 台 ポケット線量計 3 台	有 サーベイメータ α・β 用 γ・x 用 ポケット線量計
地下核実験や未臨界 核実験等への抗議状 況	昨年 9 月に米国未臨界核実験 に対し、米国大使館へ抗議文を 送付。	平成 22 年 9 月 15 日、在日ア メリカ合衆国大使館あてに臨界前 核実験を行ったことに対して抗 議文を郵送。	アメリカ合衆国が実施した核実験に つき、平成22年10月14日付及び平 成23年 5 月 24 日付抗議文書を在日 アメリカ大使館宛送付
姉妹都市・友好都市と の国際交流	アメリカのカリフォルニア州グ レンデール市と、ドイツのベルリン 市ミッテ区の 2 都市と姉妹都市 関係にある。	・姉妹都市 アメリカ合衆国ワシ ントン州ベルビュー市 ・友好都市 中華人民共和国上 海市嘉定区 各種の行政間交流、青少年交 流事業を行っている。	特になし
被爆者数	認定事務が大阪府	170 名	96 名
内認定被爆者数	認定事務が大阪府	4 名	89 名
被爆者団体名	東大阪市原爆被害者の会	八尾市原爆被害者の会(会員 120名)	松原市原爆被害者の会
被爆者援護施策	被爆者検診 2 回	八尾市社会福祉関係団体育成 事業補助金(社会福祉協議会 を通して、団体活動に対して助 成を実施。72,000 円/年)	松原市原子爆弾被爆者福祉給付金 支給事業(障害福祉課で担当) 松原市原爆被害者の会へ補助金の 交付(福祉総務課で担当)

自治体	富田林市	羽曳野市	河内長野市
担当課	市民人権部 人権政策課	市民人権部 人権推進課	市民生活部人権推進室
一般市民向け行事・施策	広島原爆の日(8/6)、長崎原爆の日(8/9)、終戦記念日(8/15)に市役所内での黙祷と広報による市民への周知 ・小学生による非核・平和ポスターの取組 ・「第27回平和を考える戦争展」8/5～7 企画展の開催 大阪大空襲、広島・長崎原爆について現物資料とパネル展示、市民からの戦時品・遺品展示、折り鶴、メッセージキャンペーンなど ・「親子平和の旅」8/6に広島で開催される「平和記念式典」に市民代表として親子1組(2人)を派遣	市広報誌等による啓発「平和展」を開催(5月)	夏休み子ども映画の集い8/10(市立市民交流センター) 平和に関するアニメ映画を上映する 愛・いのち・平和展8/12～13(市立市民交流センター) 人権・平和啓発にかかる催しとして ①市民の戦時資料等の展示②折り鶴コーナー③平和メッセージボード④お手玉コーナー⑤戦時中の食体験コーナー⑥平和啓発映画上映⑦人権協会の活動報告展 夏休み子ども平和施設見学会(8/24) 大阪人権博物館・ピースおおさか・NHK(BKプラザ) 施設見学会とおして、戦争の悲惨さ、平和の尊さ、そしてお互いの人権を守ることの大切さを学ぶ
上記以外の施策	平和学習ビデオの貸し出し	平和ゲートボール大会(5月) 羽曳野市ピースアピールの発布	
予算	2,525千円(被爆者関係除く)	166,000円(平和推進事業予算)	愛・いのち・平和展 417,000円 夏休み子ども平和施設見学会 15,000円
常設の非核・平和資料館または施設	なし	なし	なし
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	加盟	加盟	未加盟
世界平和市長会議への加盟状況	加盟	加盟	加盟
HP	http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/public/section/humanrights/index.html	なし	市 HP の人権推進室に記載
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	・「平和大行進」の受け入れ、市長メッセージの送付 ・「関西網の目・反核平和マラソン大会」への市長メッセージの送付 ・その他、市民団体等が平和に関する事業を実施する際に後援	なし	河内長野市人権協会において参画団体とともに愛・いのち・平和展開催
非核平和についての懇談会実施状況	2008年7月8日に懇談会を実施	なし	なし
放射線測定器の所有の有無及び種類	なし	なし	なし
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	地下核実験や未臨界核実験等が行われた場合に抗議文を送付	平成21年5月北朝鮮核実験に対する抗議文送付	アメリカ合衆国が行った未臨界核実験に対して、オバマ大統領に対し、抗議書を送付
姉妹都市・友好都市との国際交流	姉妹都市:アメリカ合衆国ペンシルバニア州ベスレヘム市 隔年で交互に学生を派遣する交換学生事業など実施 友好協力関係都市:中華人民共和国四川省彭州市	オーストリア国ウィーン市13区ヒーツィングとの交流	姉妹都市:アメリカ合衆国インディア州カーメル市 相互理解と国際理解の促進を図るため、カーメル市からの訪問者を受け入れ、本市から訪問者を派遣するとともに、交流事業を実施。
被爆者数	不明	約100人	
内認定被爆者数	不明	不明	
被爆者団体名	富田林原爆被害者の会	羽曳野市被爆者団体協議会	
被爆者援護施策	原子爆弾被爆者見舞金の支給 原子爆弾の被爆者を激励し、福祉の増進を図るため、毎年8月に5000円の見舞金を支給(申請は7月中)。支給対象者は「原子爆弾被爆者に対する特別措置に関する法律」に基づき支給される諸手当を現に受けている人で、7月1日現在引き続き本市に3か月以上居住し、かつ住民基本台帳に記録、または、外国人登録されている人。	団体助成金	河内長野市原爆被害者の会会員数85名

自治体	柏原市	藤井寺市	大阪狭山市	太子町
担当課	市民部 人権推進課	市民生活部地域振興課人権政策室	総務部人権広報グループ	総務部住民室 住民人権グループ
一般市民向け行事・施策	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の一部での平和教育 ・「柏原市平和展」8/5～7 平和を考える映画の上映 平和と人権のパネル展示による啓発活動 黙祷(庁内放送にて黙祷をよびかけ) ・関係機関から送付されたポスター・チラシ等を市内各施設に掲示 ・反戦、非核・平和に関するビデオなどの視聴覚教材の貸出 	平和展の開催(8月)	毎年、「平和を考える市民のつどい」を実施。今年度は8/6(文化会館)で実施予定。 また、市広報誌等で、8月6日・9日・15日に市民の黙祷を呼びかけ	終戦記念日の1分間の黙祷
上記以外の施策	保育園や幼稚園の園児による平和メッセージ	なし	なし	なし
予算	1,613千円	人権団体に、人権啓発事業・平和事業等の事業補助金を交付 128万円	不明 ※「平和を考える市民のつどい」は、大阪狭山市人権協において実施	人権団体に、人権啓発事業・平和事業等の事業補助金を交付 712千円
常設の非核・平和資料館または施設	なし	なし	なし	特になし
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	未加盟	未加盟	未加盟	未加盟
世界平和市長会議への加盟状況	加盟	加盟	加盟	加盟
HP	あり	なし	http://www.city.osakayasama.osaka.jp/10,0,14,256.html	なし
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	なし	平和展事業	「毎年8月頃実施する「平和を考える市民のつどい」へ市内の活動団体の参加を依頼。大阪狭山ライオンズクラブが主催する『国際平和ポスター展』への後援」	特になし
非核平和についての懇談会実施状況	なし	なし	平成22年度実績なし	なし
放射線測定器の所有の有無及び種類	なし	なし	なし	なし
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	平成22年10月28日アメリカ合衆国大統領宛抗議文 平成21年5月26日朝鮮民主主義人民共和国国防委員長宛抗議文	平成22年9月アメリカネバダ州臨界前核実験に対する抗議文送付	2006年10月、2009年5月に、北朝鮮の核実験に対して抗議文を送付。2010年10月に、米国の臨界前核実験に対して抗議文を送付。	現在のところなし
姉妹都市・友好都市との国際交流	非核・平和を限定した国際交流はないが、姉妹都市等はある	友好都市:黄山市(中国)	姉妹都市:アメリカ合衆国オンタリオ市 友好都市:和歌山県日高川市 オンタリオ市とは、派遣学生や市民訪問団による交流などを行っているが、「非核・平和」に特化した活動は実施していない。	友好都市:兵庫県揖保郡太子町、奈良県斑鳩町
被爆者数	37人	43名	不明	5人
内認定被爆者数	37人	42名	37人(平成22年度原爆被爆者見舞金支給対象者数)	5人
被爆者団体名	柏原市原爆被害者の会	藤井寺市原爆被爆者の会	大阪狭山市原爆被爆者の会	なし
被爆者援護施策	なし	上記団体に市補助金を交付	原爆被爆者見舞金給付事業	太子町心身障害者等給付金(4500円/年)

自治体	河南町	千早赤阪村	和泉市
担当課	住民部住民生活課人権男女共同社会室	総務課総務グループ	総務部人権国際課
一般市民向け行事・施策	小・中学生に対する平和を含めた人権の作文・詩・標語等の募集を行う6月～9月 平和を考えるパネル展 8/12～19 平和を考えるビデオ上映 8/14 平和を考える町民の集い 8/末	非核平和都市宣言懸垂幕の掲出 広報紙による啓蒙活動 平和写真パネル展の実施予定	住民への施策 第13回平和千羽鶴展開催に伴う啓発と千羽鶴の公募の呼びかけを5月広報紙で実施 千羽鶴展は7月初旬から8月下旬の間、市内公共施設等に展示 小・中学校生への施策 各小・中学校へ「平和千羽鶴展」の案内 学校向けの平和啓発ビデオ購入
上記以外の施策	平和・人権バスツアー(広報で募集を行い、バスで平和関連施設を訪れる)10月	なし	人権平和市民研修会の開催(府内等の戦跡等のフィールドワーク等) 平和の集いの開催(映画会や講演会・パネル展等)
予算		予算計上なし	1,289,000円
常設の非核・平和資料館または施設	なし	なし	なし
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	未加盟	未加盟	未加盟
世界平和市長会議への加盟状況	加盟	加盟	加盟
HP	なし	なし	平和施策(事業)の案内を行う http://www.city.izumi.osaka.jp/
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	未実施	なし	市民公募による「和泉市人権平和事業実行委員会」と連携・協働実施
非核平和についての懇談会実施状況	未実施	なし	和泉市人権平和事業実行委員会が主催で人権平和市民研修会として、戦争体験者の講演を22年度は2回実施
放射線測定器の所有の有無及び種類	なし	なし	なし
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	未実施	なし	平成22年9月15日米臨界前核実験において抗議
姉妹都市・友好都市との国際交流	なし	なし	姉妹都市:米国ミネソタ州ブルーミントン市 交換学生の相互派遣事業 泉州国際市民マラソンへのランナー招へい等 友好都市:中国江蘇省南通市文化交流等
被爆者数		不明	市としては実数を把握していない
内認定被爆者数		不明	市としては実数を把握していない
被爆者団体名	把握していない	なし	原爆被爆者の会「和泉市楠の会」
被爆者援護施策		なし	上記の団体に補助金を交付の上、団体の活動・福祉の向上を図る

自治体	泉大津市	高石市	忠岡町
担当課	総合政策部秘書広報課	総務部人権推進課	町長公室政策推進課人権平和室
一般市民向け行事・施策	平和メッセージ展7/8～12(いずみおおつ CITY) 平和バス見学会(7月末) 平和パネル展 8/1～5(泉大津市役所1階ロビー) サイレン吹鳴(8/6・9・15) 平和行進団体へのメッセージ「非核平和啓発看板」庁舎外壁に掲出、非核平和柱などを市内9か所に設置	非核平和都市宣言啓発塔の常設(庁舎前) 「高石市非核平和展」(忘れないで平和の尊さ)の開催(7/27～8/4) (小学6年生などから寄せられた「平和ハガキ(約630枚)」の展示、非核・平和に関する写真等パネルの展示、アニメビデオの映写、絵本・詩の朗読及び戦争体験者の話) 懸垂幕「人類平和のため核兵器を廃絶させよう」の掲示(8月の1ヶ月間) 広報紙(8月号)の人権のページに、非核・平和に関する特集を掲載 関係機関から送付されたポスター・チラシ等の掲示・配布 反戦、非核・平和に関するビデオなど視聴覚教材の貸し出し	・中学校では沖繩への修学旅行の前に、平和学習を行っている ・平和行進(町長メッセージ)7月 ①啓発懸垂幕の掲示 ②街頭啓発 ③ピース大阪見学会(8月初旬予定) ④非核平和パネル展(8/4～8/9) ⑤非核平和図書コーナー設置(8/1～20) ⑥終戦記念平和祈念事業(町長メッセージ、平和の鐘打鐘)
上記以外の施策	非核平和ビデオ、DVDの貸し出し	平和を祈念し、市職員の黙とう(8/6・9)の実施(広報紙で市民にも「黙とうに協力を」と広く呼びかける)	特になし
予算	373千円		非核平和事業啓発物品代 42,000円 借上料 80,000円 使用料 78,000円
常設の非核・平和資料館または施設	なし		平和の鐘
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	未加盟	加盟	加盟
世界平和市長会議への加盟状況	加盟	加盟	未加盟
HP	平和メッセージ展、平和パネル展、及び平和バス見学会の開催告知、参加者募集などを掲載。 http://www.city.izumiotsu.osaka.jp/	http://www.city.takaishi.lg.jp/kakuka/soumu/jinkensuishin_ka/hikakuheiwa/index.html	施政方針等に部分的に掲載あり http://www.town.tadaoka.osaka.jp
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	なし	各種団体が実施する「平和行進」等へのメッセージの手渡し	特になし
非核平和についての懇談会実施状況	なし		特になし
放射線測定器の所有の有無及び種類	市役所本庁においてなし	なし	なし
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	核実験に対して抗議文を提出。直近では、平成22年9月15日にアメリカ合衆国が行った地下核実験に対し、同年10月14日付で大統領宛に抗議文を提出。	平成23年5月24日、在日アメリカ合衆国大使館に「新型の核性能実験に関する抗議文」を送付	平成21年5月、北朝鮮へ核実験に対する抗議文を送付 日本非核宣言自治体協議会が代表して抗議文を送付
姉妹都市・友好都市との国際交流	オーストラリア・グレーダーグリーン市との中学生交互派遣	姉妹都市:ロミタ市(米国) ・教育・文化・産業・経済の交流を通じて相互理解、国際親善を推進 ・ホームステイによる相互交流	友好提携都市オーストラリア ピットウォーター市 ・泉州国際市民マラソンに毎年2名の市民ランナーを招聘 ・青少年海外派遣交流事業、青少年海外受入交流事業を毎年交互に実施
被爆者数	把握していない	26名	9名
内認定被爆者数	把握していない	0	9名
被爆者団体名	泉大津原爆被害者の会		忠岡町原爆被害者の会
被爆者援護施策	活動運営補助金の交付		町単独制度なし

自治体	岸和田市	貝塚市
担当課	自治振興課	人権政策課
一般市民向け行事・施策	<p>①子ども平和映画会 6/18(マドカホール) ・小学生対象に午前・午後映画を上映。「はだしのゲン・2」 ・平和関係写真パネルのロビー展示。</p> <p>②平和マラソン湯茶接待 7/3(市役所新玄関) 平和マラソン参加者に対し湯茶接待を行う</p> <p>③巡回平和パネル展 6/15～6/24(市役所新玄関)、7/4～7/8(産業高校)、7/11～7/19(春木市民センター)、7/19～7/25(山直市民センター) 7/25～8/1(東岸和市民センター)8/1～8/8(女性センター) 「沖繩戦とひめゆり学徒(予定)」に関する写真パネルを展示し、平和啓発を行う。</p> <p>④非核平和資料展 8/10～8/14(自泉会館) 「沖繩戦とひめゆり学徒(予定)」に関する写真パネル・非核平和に関する現物資料等を展示し、平和啓発を行う。また、映画の上映、朗読グループによる朗読劇を実施する。</p> <p>⑤「被爆地・ヒロシマへの平和バス」7/30～7/31(広島市) 市民 40 人を広島へ派遣し、広島平和記念資料館見学、平和記念公園見学、被爆体験講話聴講、平和ビデオ視聴を通じ、非核平和に関する研修を行う。</p>	<p>関係機関からのポスターやチラシの掲示・配布 「貝塚市平和教育基本指針」に基づき、各学校が平和教育に組織的・計画的に取り組む。 小中学校で夏季休業中に平和登校を実施。小学校は広島、中学校(1校を除き)は長崎、沖繩への修学旅行で反戦・平和を学習</p>
上記以外の施策		原爆死没者の慰霊・平和祈念の黙祷 平和記念像・核兵器廃絶平和宣言都市碑・「平和のともしび」像
予算	平和推進事業 1,390,000 円	0 円
常設の非核・平和資料館または施設	なし	なし
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	加盟	未加盟
世界平和市長会議への加盟状況	加盟	加盟
HP	市の HP「組織でさがす」-「市民生活部 自治振興課」にて各事業について掲載	なし
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	非核平和資料展開催については、行政と市民団体が「平和を考える戦争展実行委員会」を組織し協働で非核行政施策に取り組んでいる。	平和行進へのメッセージ・激励 戦争と平和、人権を考えるつどい(不定期開催)
非核平和についての懇談会実施状況	平成23年1月26日原水爆禁止岸和田市協議会と懇談会を行い、協議会側から6名、市側から職員4名が参加し意見交換が行われた。(職員会館3階和室)	未実施
放射線測定器の所有の有無及び種類	なし	なし
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	平成 23 年 5 月 27 日アメリカ合衆国核実験への抗議文提出	無し
姉妹都市・友好都市との国際交流	中国広東省汕頭市、米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコ市、大韓民国ソウル特別市永登浦区、中国上海市楊浦区の3か国、4都市と姉妹・友好都市締結をし、行政間交流だけでなく、青少年・マラソン・文化などの分野での民間交流を実施している。	姉妹都市：アメリカ合衆国カルバーシティ市と市民マラソン選手の相互交流や小学生親善交流を行っている。
被爆者数	112 名	57 名
内認定被爆者数	把握できていない	0 名
被爆者団体名	はづき会	貝塚市原爆被害者の会
被爆者援護施策	見舞金(一人当たり1万円/年)	被爆者見舞金

自治体	泉佐野市	泉南市	阪南市
担当課	人権推進課	人権推進部 人権推進課	総務部市民協働まちづくり振興課
一般市民向け行事・施策	①「平和を考えるつどい」8/6 前後に予定 ・反戦・平和に関するアニメ映画上映 ・広島・長崎原爆パネル展(泉佐野市立中央図書館) ②戦争・平和資料展 7/30～8/28 予定 歴史館いずみさの所蔵の戦時中の資料を展示(泉佐野市立歴史館いずみさの) ③市広報(8月号に掲載予定)への関連記事の掲載 ④庁内放送での黙祷の呼びかけ 8/15	①非核平和の集い 8/21(総合福祉センター) 1部:戦争体験記発表 2部:平和コンサート ②懸垂幕の掲示 8/1～8/31(水道庁舎壁面) ③ビデオ上映 8/1～8/15(市役所ロビー) ④非核平和の図書コーナー8/2～8/30 (市立図書館) ⑤読み聞かせ会「ちいちゃんのかげおくり」8/20「もっとおおきなたいほうを」8/22 (市立青少年センター)	非核平和パネル展開催(8/1～4) 期間中(8/1)街頭で啓発運動実施
上記以外の施策	特になし	なし	特になし
予算	非核・平和施策特定予算はなく、人権啓発に係る市予算の中で消耗品費等を支出	非核平和の集いチラシ・ポスター印刷代 80,000円 非核平和の集い映画上映等一式 200,000円	特になし
常設の非核・平和資料館または施設	なし	なし	特になし
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	未加盟	未加盟	未加盟
世界平和市長会議への加盟状況	加盟	加盟	加盟
HP	記載していない	8月に掲載予定 http://www.city.sennan.osaka.jp/	特になし
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	①第12回戦争展(予定)8月上旬に2日間 反戦平和のパネル展示等(市役所市民ロビー) ②「つどい」等反戦・平和・人権への取組8月(各人権文化センター)③反戦・平和パネル展市内小学校での反戦・平和パネル展示 日程未定(市内小学校)	「非核平和の集い」を泉南市人権啓発推進協議会と共催で実施	特になし
非核平和についての懇談会実施状況	未実施	予定なし	特になし
放射線測定器の所有の有無及び種類	有 ポケット線量計 サーバイメータ	なし	所有していない
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	なし	状況等により実験実施国へ抗議文の送付を実施	平成18年10月9日に実施された朝鮮民主主義人民共和国の地下核実験に対して、日本国としての適切な対応を求める文書(要請書)を平成18年10月11日付で内閣総理大臣あてに送付
姉妹都市・友好都市との国際交流	中華人民共和国 上海市 徐匯区・宝山区、オーストラリア クイーンズランド州 サンシャインコーストと友好都市交流	予定なし	なし
被爆者数	大阪府において把握	36名	大阪府にて把握
内認定被爆者数	大阪府において把握	不明	大阪府にて把握
被爆者団体名	泉佐野原爆被害者協議会	泉南市原爆被害者の会	大阪府にて把握
被爆者援護施策	大阪府において実施	不明	特になし

自治体	熊取町	田尻町	岬町
担当課	総務部人権推進課	総務部企画人権課人権・男女共生室	総務企画部 人権推進課
一般市民向け行事・施策	①小・中学生がポスターを作成することにより平和を学習 ②啓発用パネル及び上記で作成したポスター展を開催	平和について考えるパネル展 町立学校における平和学習	各小・中学校(4校)で平和学習の実施
上記以外の施策	平和フィールドワーク	なし	なし
予算	120,000 円	0 円	0 円
常設の非核・平和資料館または施設	なし	なし	なし
日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	未加盟	未加盟	未加盟
世界平和市長会議への加盟状況	未加盟	加盟	加盟
HP	特になし(人権推進課の業務として掲載)	http://www.town.tajiri.osaka.jp/	なし
市民団体・草の根運動との共催又は後援の取り組み	申し出あれば協力する方向で検討	なし	なし
非核平和についての懇談会実施状況	未実施	なし	なし
放射線測定器の所有の有無及び種類	有 個人線量計 GM サーベイメータ 電離箱式サーベイメータ 中性子サーベイメータ 可搬型モニタリングポスト シンチレーションサーベイメータ ポケット線量計(γ線用) ポケット線量計(γ(x)線用) 可搬型ダストサンプラー	なし	なし
地下核実験や未臨界核実験等への抗議状況	特に実施する予定なし	なし	なし
姉妹都市・友好都市との国際交流	姉妹都市 オーストラリア・ミルドラ市と提携	なし	なし
被爆者数	把握していない	5名	7人
内認定被爆者数	21名(手帳交付者)	0名	0人
被爆者団体名	泉佐野原爆被爆者協議会熊取地区会	泉佐野原爆被害者協議会	(社)大阪府原爆被害者団体協議会
被爆者援護施策	被爆者の健康管理及び福祉向上のための活動等に対する助成	なし	



非核・平和施策アンケートの「放射線測定器の所有の有無及び種類」関連

放射線

検出器・測定器

一覧

(概要説明)

- 個人線量計 (個人が胸ポケットなどにつける。記録・警報付きもある)
(市販では一万円前後から数万円程度まで各種あり、入手可能)
- ポケット線量計 主に放射線の電離作用を利用。その場で線量が読める。
- フィルムバッジ 主に放射線の発光作用を利用。現像後線量に換算する。
- 熱蛍光線量計 事後加熱して蛍光量を測定、線量に換算する。

デジタル警報器付きもあり、記録できるものもある。放射線作業者は原則として各人必ず装着し、都度(作業毎)または定期的に読み取る。検出・測定できるのは、主にX-線や γ -線。

- サーベイメーター (表面の汚染を測定)
(数万円から数十万円まで各種の機種あり、取扱い要注意)
- 電離箱 放射線の電離作用を利用。X-線、 β -線、 γ -線
- Geiger-Müller 計数管 歴史的にも有名な測定器で(α)、 β 、 γ 、X線など。
- NaI シンチレーター 主に γ 線による発光パルス(シンチレーション)を測る。

放射線源の示す性質(現象)により、用いる測定器(検出器)も変える必要。

電離現象： 電離箱、比例計数管、GM計数管など。

電子・正孔現： 半導体検出器。

励起発光現象： 熱蛍光線量計(TLD)、蛍光ガラス線量計、シンチレーター。

感光反応現象： フィルムバッジ。

化学反応現象： 化学線量計。

核反応現象： 箔検出器。

電荷収集現象： ファラデーカップ。

発熱現象： カロリーメーター。

以上のほか、中性子検出器(中性子を減速材で減速した後、比例計数管やシンチレーターで分析)やレムカウンター(中性子検出器をポリエチレン製減速材で覆って検出された線量を直接読む)ホールボディカウンター(体内に取り込まれた放射線の量を測る)等がある。研究用には、半導体検出器を液体窒素など低温にして微量・精密測定する計器も使われている。

2011年度「非核の意見広告ポスター」申し込み書

募集要項

- 【テーマ】 ● メインテーマ 一日も早く核兵器禁止条約の交渉を
 ● サブテーマ ノーモア ヒロシマ・ナガサキ ノーモア フクシマ

【デザイン】 ● 別紙(多少の変更もありえます)
 (完成時の大きさは約460mm×630mm位)

【応募の仕方】

- ◇ 個人:「意見広告ポスター申込用紙」に「氏名」「行政区」をご記入ください。(ポスターに掲載するお名前は行政区単位にします。又、お名前にカナを振っていただけると幸いです。) 一口1,000円尚、お名前の掲載を希望されない場合や行政区省略の場合はその旨をご記入下さい
- ◇ 団体:「団体名」(略称表記か正式名かのどちらかをご記入ください) 一口 5,000円

【申し込み期間】

● 一次締め切り 9月30日、最終10月15日

【完成ポスターのお届け】

団体・組織でお申し込みいただいた場合は、完成したポスターを団体・組織を通して送付させていただきます。個人の場合は、お申し込みいただいた住所に送付させていただきます。

申込用紙

【団体】 申込… [] 口

団体名(ポスター掲載名)

申込者	
住所	
電話	
FAX	

【個人】 申込…団体で一括申し込みの場合は、団体へ送付します(裏面にもご記入いただけます)

氏名(ポスター掲載名)	住所(個人宅へ送付する場合は詳細)行政区
(フリガナ)	〒()
(フリガナ)	〒()
(フリガナ)	〒()

【お申込み・お問合せ先】 「非核の政府を求める大阪の会」事務局 意見広告係

〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 新谷町第3ビル 210号

TEL06-6765-3032 Fax06-6765-3033 E-mail:hikakuosaka@hotmail.com